



前・長生村長

石井としお通信

ホームページは「石井としお」で検索

2013年11月99号

石井としお後援会

長生村七井土 1387-2

電話 090-3094-0321

石井としお後援会3名推薦決定

台風26号は伊豆大島に甚大な被害をもたらし茂原市でも一宮川の氾濫によって郵便局や商店が水につかり「災害救助法」の適用を受けました。本村では大きな被害もなく幸いでした。

10月14日、石井としお後援会の臨時総会を開催しました。その中で来春4月の村議会選挙に向け3名の地区別推薦者を決定しました。

今回の通信は推薦決定された方の抱負と石井としおが六ヶ所村を視察した報告などです。



後援会臨時総会開く

小宮山共同代表挨拶

日ごろの石井としお後援会への支援に対し感謝を申し上げます。さて、早いもので村の議会議員選挙が来年の4月に迫ってきました。前回の選挙では皆様から「ましこ、石川、他2人」の推薦決定を頂き、ましこ、石川含め全員当選させていただきました。しかしその後、残念でしたが1人は後援会を除籍処分、1人は退会しました。除籍処分した門口議員の理由ですが石井としお後援会

に協力体制がなくなり、考え方も一致しなくなったからです。現在の推薦議員は「ましこ、石川議員」の2名であります。

本日は、石井としお後援会と協力関係が確実となる方を紹介し、皆様からの慎重審議を頂き「推薦する・推薦しない」を決めていただく総会となります。

小高村政の評価点は

石井としお前村長挨拶

①7月の参議院選挙で自民党が圧勝しその後の政策では消費税を8%に決定し、生活保護費の切り下げ、年金切り下げ、アベノミクスによる物価上昇、特定秘密保護法を国会に提出など、私達庶民から見ると良いことは見えません。今必要なことは働く者の4割・2000万人のフリーター・臨時雇用の人たちの正規雇用を拡大することです。

②小高村長の評価できる点は避難施設の建設や、中学生の海外派遣などです。これは私の公約にも入れてありましたので評価できます。しかし、評価できない点は公約違反の幸福の科学への課税撤回と寄付一億円の受け入れ・病院誘致の早々断念、村長相談室の廃止、村長運転手の復活、脱原発をめざす全国会議を離脱、原爆の絵展への後援申請を拒否、一の宮町との職員合同研修の廃止などです。この1年でどんどん後退しています。

③今回、後援会が推薦する基準です。・合併を進めないこと・少子高齢化対策をおこなうこと・環境

や医療問題に取り組むこと・活動報告を紙面ですること・村民が主人公を貫くこと・平和憲法を大切にすること・石井後援会と相談して議会活動を進めること、などの基本的合意が前提です。

推薦決定3名の抱負



ましこ勇男 現職・(高根)

2010年の村会議員
選挙

頂き、後援会や村民の「支援と協力」で当選させていただきました。改めてお礼申し上げます。立候補した時に誓った、私の考えは今も変わっておりません。新人議員として自分なりに頑張ってはきましたが、私自身のスキルアップに向けた努力不足がありました。あと、数ヶ月で4年の任期が終ろうとしています。二期目への決意は、一期目で達成できなかった項目に再度挑戦し力を入れること。まず、千葉県で唯一の村を残していきます。そして、住んでよかった長生村にするために次のことに力を入れます。①合併は進めません。②少子高齢化、医療、福祉、年金と環境に力を入れます。③防犯と災害に強い村を目指します。④活動を報告します。⑤現平和憲法を守ります。⑥来年の改選時に向けて「5つの目標」を掲げて、輝く村づくり「住んでよかった長生村」をめざし活動していきます。

経歴紹介

住所 長生村宮成 2660-7
氏名 増子勇男 年齢 62歳
出身 福島県郡山市
最終学歴 福島県立本宮高校
家族 妻・長男と同居
趣味 ラグビー
現在、議員一期目 電話 090-1817-4673



石川よしかず 現職・(一松)

2010年の4月に行なわれた村議会議員選挙では石井としお後援会の推薦で当選

させていただき「合併しない日本一の村づくり」を目指し、議員活動をしてきました。委員会は産業土木に所属し一松の青海苔漁場の整備や保育所調理室のエアコン設置の実現、入山津の村道路・電柱移設の取り組み、防災対策などに力を入れました。また、小高村長の政治姿勢を問う幸福の科学への課税撤回については公約違反として本議会で徹底追及、3回に亘って質問しました。さらに議員歳費の削減も全員協議会の中で提案したのですが賛同する議員がいなく実現することはできませんでした。議会報告は一松地区を中心に10号まで作成し配付させていただきました。

村民の皆様からは「石川議員、もっと勉強してしっかりやれ」とのアドバイスも頂いています。今後もさらに勉強してまいります。今の長生村を考えますと、村民の意見や考え方が村政に十分反映されているとは思えません。石井としお後援会、石川よしかず後援会の皆様、そして村民の皆様の声を村政にもっと生かせるよう努力してまいります。村民と村が一体となった協働の村づくりで、合併しない元気な日本一のながいき村を今後も目指します。

経歴紹介

住所 長生村一松戊 3436-3
氏名 石川よしかず 61歳
出身 長生村
最終学歴 茂原農業高校
家族 妻、子供2人
趣味 畑仕事
現在、議員一期目 電話 080-3478-7067



立川ともひろ 新人 44 歳(八積)

現在 44 歳です。川崎で料理店を経営してきました。都市計画で店舗移転を迫られ、父が他界したこともあり、母が生活する長

生村に戻ってきました。

村の印象は空気が綺麗、野菜が新鮮、合併しない村が気に入っています。父は石井としお後援会の副会長として長く活動しました。まずは後援会の皆さんとお近づきになり、村議会にも傍聴するようになり「議会と執行部の関係」を自分の目で見てきました。議会では質問もしないで座っているだけ、執行部に批判だけ、居眠りとヤジ、一生懸命活動する議員、いろいろ見てきました。議員とは村民が健康で幸せに暮らせるよう議会で代弁することが仕事ではないかと思えます。

そんなとき「石井後援会から議員に出てほしい」「合併しない村を活性化してほしい」「若者の代弁をしてほしい」などの、要請を頂きました。微力ですが、力の限り、村民皆様の為に働いてみたいと決意しました。私の心情ですが・合併は進めません。・少子高齢化対策に力を入れます。・学校教育の充実につとめます。・農産業の育成に力を入れます。村民が主人公を貫きます。

経歴紹介

住所 長生村七井土 1376-6
氏名 立川智浩 年齢 44 歳
出身 東京池上
最終学歴 川崎市立商業高校
家族 母と同居。現在、農業法人に勤務しています。
趣味 音楽と野菜作り 電話 090-1211-7235

青森六ヶ所村を訪問

10 月 19～21 日、石井は友人 2 人と青森県六ヶ所村を訪問しました。目的は『チェルノブイリの原発の事故を知り、ふるさと六ヶ所村を放射能から守りたい』と、松戸市から六ヶ所村に家族で戻った菊川慶子さんの活動に学ぶことでした。

菊川さんのご両親は樺太から六ヶ所村に開拓で入り四人の子供に恵まれました。慶子さんは集団就職で東京に行き、結婚。家族をもち 3 人の子供さんと幸せな生活を送る中 1990 年に帰村し無農薬野菜の栽培を始めました。販路を探したが「原発再処理工場を造る村の野菜は購入できない」と言われ、苦肉の末に畑にチューリップを植え花祭りを企画し多くの方にきてもらえるようになりました。核廃棄物再処理工場建設反対の運動にも加わり村会議員に立候補したが当選することはできなかったそうです。



—菊川慶子さんに話を聞きました—

村民の所得は全国一

菊川さんの話です。「当初は核廃棄物再処理工場建設に反対する方は多数で、反対派の村長でした。しかし、札束と買収選挙で賛成派が多くなり、現在は原発推進の村長が 5000 票、反対派が 250 票と運動が小さくなっています。六ヶ所村の面積は 253 km²で人口は 1 万 1 千人。村の中心部にはビルが立ち並び、原発交付金が入るので村の一般会計予算は 180 億円。村民一人当たり

の所得は 1364 万円(企業所得も入る)で青森県の平均所得 236 万円よりはるかに多い。村民の所得は日本一です。でも村民一人一人が豊かではない」とのことでした。※長生村は面積 28 km²・人口約1万5千人・一般会計約 44 億円。



役場庁舎

役場の建物は 4 階建て、図書館は豪華で立派でした。原発

関係者の宿舍のビルが沢山あり目立ちました。

当初、工場建設反対で頑張った皆さんが、金権買収選挙が横行する中でも「ふるさとを放射能から守りたい」と今でも奮闘している姿に深い敬意を抱きました。交付金欲しさに村に入れた原発のゴミは子ども達の健康で安全な未来、村の将来に必ず禍根を残すだろうと思いました。



完成近し 大間原発

次の日、まぐろ日本一の「大

間」に行くと「MOX 燃料(再処理で作ったウランとプルトニウムの混合燃料)」で発電する「大間原発」がまもなく完成でした。小さいお子さんをもつお母さんからは「夫は六ヶ所村の再処理工場で働いていたが、今は福島原発事故の処理作業で働いている。放射能汚染で夫の健康が心配です」と話してくれました。人口も働き口も少ない田舎をねらって交付金で原発を増やす政策は福島の事故後も続いています。今ある原発を廃止し、同時に新しく造ることも止めるべきです。

小泉元首相も脱原発

小泉元首相が原発関係者とドイツ・フィンランドを視察した感想として「原発は使用済核燃料の

最終処理方法が見つからないのだから廃止だ。今後は自然再生エネルギー行くべき」と言い、全国から講演依頼が殺到しています。



60 周年記念式典に思う

11 月 2 日(土)村の文化会館で長生村 60 周年記念式典が行われました。思えば、村は合併推進・反対と大きく揺れ動きました。私は「合併は住民投票で決める」で、村長に当選させていただき合併しなかった。今、村民からは「長生村は合併しないで良かった」「村は県でただひとつのブランドだ」と、誇らしい声も聞こえます。今回の記念式典も合併しなかったからこそ開催できたと考え、合併を選択しなかった村民に感謝と敬意です。

編集後記

- ①来年の 4 月は議会の選挙です。石井後援会推薦決定 3 候補の当選に向けてご支援願います。尚、追加の推薦者を準備中です。
- ②安倍総理は消費税を 8%に決定し、今度は特定秘密保護法を通そうとしています。政府が隠そうとすることを「特定秘密」で隠し、漏らした人物を処罰することになります。日本弁護士会も「反対表明」をしています。民主主義は情報公開が大切です。情報公開なくして国政をチェックすることは困難です。ドイツやフランスの民意は情報公開をもっとすべき、と言っています。
- ③臨時総会のご来賓、大網白里市議・石渡様には心あたたまる御祝辞を頂きました。